

# 100↑



## わかまつ 若松レガシー

創刊特別号

石炭の積出港として日本の近代化を支えた若松の誇り、  
100年企業を紹介するシリーズです。

若松100年企業に学び、課題を克服、未来を創る。



福岡県北九州市若松区 若松南海岸 ©Nakano Naritaka

「100年↑若松レガシー」発刊によせて

福岡県北九州市若松区長 榎尾美栄子

洞海湾の湾口部にあたる若松は、江戸時代より、水路を利用した年貢米の中継地点でした。明治時代に筑豊炭田の本格的な開発が始まると、石炭の大量輸送に対応するため、鉄道の敷設や若松港の築港整備に取り組むなど物流の近代化を図り、若松は石炭の積み出し拠点となっていきました。

積み出し港としての発展は、官営八幡製鐵所の誘致につながり、日本の近代化に大きな役割を果たすとともに、多くの企業や人が集まり、大きな経済発展を遂げ、街そのものが活気に満ち溢れていました。先人たちは、それぞれの時代で数多の壁に直面し、困難を乗り越え、未来を切り拓き、今の若松のまちを築いてきました。

若松には、この激動の時代を生き抜き、先見の明を持って時の潮流を掴みながら、経済活動や地元のまちづくりに邁進し、現在でもトップランナーとして活躍しつづける創業100年を超える企業が数多く存在します。100年企業が長年の企業活動で遺した功績や

先代から受け継いできた理念、若松を愛する熱い思いには、これから地域が直面する課題を克服し、若松のまちづくりに活かす沢山の知恵が詰まっています。

若松区役所では、今なお地域とともに発展している100年企業の顕彰をとおして、シビックプライドの醸成や人材育成を図るために、「若松レガシー」を発刊しました。皆様にはぜひ、本紙をご一読いただき、100年企業に学び、若松の魅力に触れて、地域に誇りを感じて頂き、特に次代を担う若い世代の皆さまには未来を創る糧として、今後の人生のキャリアプランの参考にさせていただけると幸いです。

結びに本紙の刊行にあたり、ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、本紙がこれからの若松の発展の一助となることを祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

#若松レガシー #100年企業 #SDGs



時代を超えて今なお歩み続ける100年企業が数多く存在する若松。  
石炭積出港として明治の近代産業を支えたまちのDNAは、  
これからの100年を担う新しい環境・エネルギー産業の機軸として受け継がれ、  
SDGsが目指す未来の持続可能な社会へとつながっています。

### 若松のあゆみ

時代 年

- |    |           |  |
|----|-----------|--|
| 明治 | 23 (1890) | 若松築港会社が設立され、港湾工事に着工                          |
|    | 24 (1891) | 若松と直方間を結ぶ筑豊興業鉄道が開通                           |
|    | 34 (1901) | 官営八幡製鐵所の操業開始                                 |
|    | 37 (1904) | 若松港が国の特別輸出港に指定され、石炭積出港として急速に発展               |
| 大正 | 3 (1914)  | 市制施行により若松市となる                                |
|    | 10 (1935) | 第1回みなと祭                                      |
|    | 15 (1940) | 若松港石炭積出量の最盛期を迎える                             |
|    | 29 (1954) | 高塔山公園を開園<br>「火まつり」はじまる<br>「五平太ばやし」が誕生        |
| 昭和 | 37 (1962) | 若戸大橋が開通し、若戸大博覧会を開催                           |
|    | 38 (1963) | 5市合併し、政令指定都市・北九州市が誕生                         |
|    | 61 (1986) | 第1回「くきのうみ花火の祭典」                              |
|    | 4 (1992)  | 「響灘緑地 グリーンパーク」開園                             |
|    | 9 (1997)  | 北九州市が他の3自治体とともにエコタウン地域(第1号)承認を受ける            |
|    | 13 (2001) | 北九州学術研究都市開設<br>北九州市エコタウンセンター開設               |
|    | 15 (2003) | 響灘風力発電施設が運転を開始                               |
|    | 17 (2005) | ひびきコンテナターミナル供用開始                             |
|    | 23 (2011) | 響灘地区に風力発電の関連産業を集積させる「グリーンエネルギーポートひびき」事業を開始   |
|    | 24 (2012) | 若戸トンネル開通<br>響灘ビオトープ開園                        |
| 平成 | 26 (2014) | わが国初の洋上ウインドファームの響灘地区への誘致に着手                  |
|    | 30 (2018) | 北九州市が全国で初めての「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定される |
|    | 4 (2022)  | 若戸大橋が国の重要文化財に指定                              |
| 令和 |           |  |



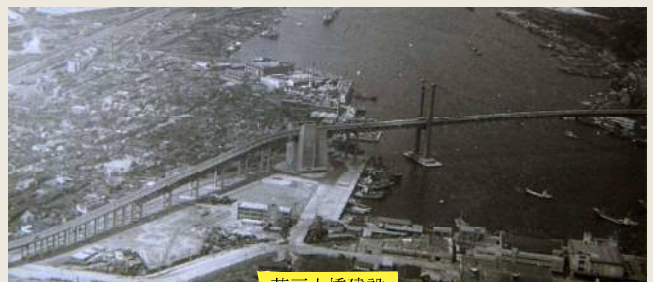
若松市南海岸通り



若松港(積出港)



若松駅(鉄道輸送)



若戸大橋建設



北九州学研都市



ひびきコンテナターミナル



洋上風力発電



グリーンパーク(パーク)



若松南海岸通り&若松港



北九州次世代エネルギーパーク



発行/若松プライド・プラスワン推進協議会(北九州市 若松区役所 総務企画課内) TEL.093-771-3559



この「若松レガシー」はポートレウス若松の収益金の一部を活用して作成しています

JESCO JESCO北九州事業所は当事業に協賛します

令和4年3月発行